

週間感染症情報

2024年15-17週 2024年4月8日より2024年4月28日まで

15週 16週 17週

麻疹			
風疹			
水痘(みずぼうそう)	1		
ムンプス(おたふくかぜ)			
百日咳			
溶連菌感染症	12	14	16
手足口病			
ヘルパンギーナ			
伝染性紅斑	2		
感染性胃腸炎	36	28	45
ロタウイルス(再掲)			
便アデノウイルス(再掲)			
突発性発疹	2	4	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	1		2
ヘルペス性口内炎			
アデノウイルス感染症	1	2	0
RSウイルス感染症	2	1	1
マイコプラズマ感染症			
ヒトメタニューモウイルス	2	4	2
インフルエンザ	11	2	2
インフルエンザ A	0	0	1
インフルエンザ B	11	1	1
新型コロナウイルス感染症	42	75	17

2024年15~17週の3週間の報告です。右下のグラフの様に新型コロナウイルス感染症は減少しています。しかし、2023年よりは多い報告が続いています。コロナの報道が少なくなり、受診での特別扱いもなくなりました。症状があっても受診せずに済みます人も多いようです。せめて、体調不良の場合は休み、症状がある場合はマスクを着用して感染をひろげないようにして下さい。厚生労働省の2023年11月の人口動態統計によると、直接死因として「新型コロナ」が関連していたのは2819人、間接的に影響した人を含めると5235人に上りました。決してただのかぜではありません。インフルエンザの報告はほとんどなくなりました。流行は終息しました。ただ、外国からの訪問客も多く小流行は起こる可能性はあります。

溶連菌感染症の報告は多く。成人例の報告もあり、要注意です。
 感染性胃腸炎は嘔吐が主のノロウイルスと思われる症例が多いです。
 RSウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス感染症の報告が増えています。
 呼吸困難で入院例もあり、今後の流行状況が心配です。

医療機関の受診にはマスクの着用をお願いします。
 体調不良の場合は休みましょう。
 手洗い・換気に努めて下さい。
 密な環境・公共交通機関では
 マスクの着用をぜひお願いします。

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)

三宅内科小児科医院 三宅真砂子

